

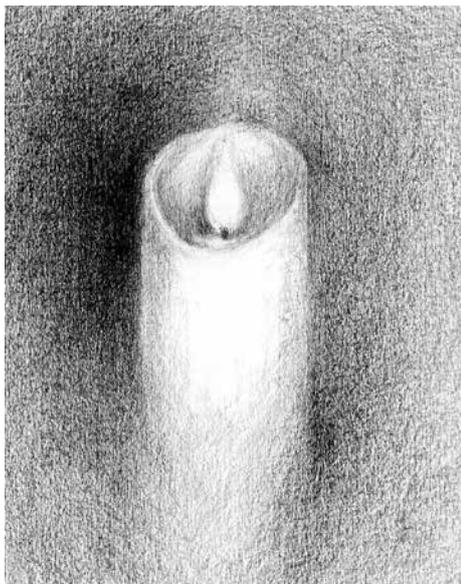


いかずちの子

カトリック町田教会
町田市中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512



http://www.machida-catholic.jp/



天におられる 私たちの父よ
御名が聖とされますように
御国が来ますように...

虎が乗っています

主任司祭 アシジの聖フランシスコ 田中 隆弘

東京教区で働く教区修道会
神父は月に一度司祭月例会
がカテドラルであり、それに
参集します。そして、その月
例集会は「昼の祈り」の後に
研修部門があります。その研
修部門ですが、一例をあげる
と「典礼における説教につい
て」というものがありました。
計六名の教区司祭と修道会
司祭が自分の主日ミサ説教を
どのように毎回準備している
か、について講師として話し

てくれました。そのなかで、
一人の教区司祭は毎回、その
日の主日ミサの福音書の箇所
を全部暗記することから始め
るという事でした。全部、全
文です！
さて、その司祭月例会に
はわたしは現在高齢者という
ことでロマンスカーを利用し
ています。しかし、前の教会
では毎回自分の車でカテドラ
ルまで行っていました。教会
を出て「山手通り」に入って

約20分前後でカテドラルでし
た。

ある時、そんな山手通りに
入って、前の車を観ると、車
の後ろのリアガラス部分にス
テッカーが貼ってあり、「虎
が乗っています」と虎のイラ
ストと共にありました。

よく、「赤ちゃんに乗って
います」というステッカーは
見かけますが、「虎が乗って
います」は初めてでした。わ
たしは何か自称コワイ人が
乗っているのか？と思い、車
間距離を少し空けて、さらに
よく観ると反対側の左下にも
う一枚、お馴染みの阪神タイ

クリスマスの食卓

運営委員 飯島 葉子

11月に入るとフランスの主
婦達の間では、早くもクリス
マスの食事の献立てのことが
話題にのぼる。とにかく一年
の内で最も重要な食事なのだ。
日本のお正月に匹敵するかも
しれない。

24日のディナーが特に大切
で、これは基本的に家族で。
遠い地方に住む子供達もこの
日には必ず両親のもとに集ま
る。25日の昼食はもう少しリ
ラックスしたもので、親しい
友人も加えたお祝いの食事と
なる。教会暦をもとに年間の
バカンスが設定されているの
で、24日の午後はレストラン

ガースの虎のステッカーがあ
りました。プロ野球の阪神タ
イガースファンが乗っている
ということか！と悟りました。
聖パウロは「知らないの
で、あなたがたの体は、神
からいただいた聖霊が宿って
くださる神殿であり、」（コ
リント6・19）と説いていま
す。私たちの体を車にたとえ
ると、その車には「内なる神
殿・キリスト」が乗っている
ということでしょうか？
そして、毎週の主日ミサは、
そのことを思い起す時と言っ
ることなのかもしれません。

も閉まり、スパーも夕方5
時頃にはシャッターを降ろし
てしまう。
24日の家族でのお祝いの食
事に友人として招かれたら、
これは信頼を得た証拠。実に
嬉しいお誘いだ。

ある年のクリスマスイブの
ディナー。私はその当時の大
家さんご夫妻の家に招かれた。
私はご夫妻の家と同じ敷地内
にある離れに住んでいた。
夫妻の、既にそれぞれ家庭
を持つ二人の息子と二人の娘
達。それぞれの伴侶達。五人
の孫達。大家さんの奥さん、
エリザベートが少し緊張した

面持ちなのは、オープンの中
の肉料理の焼き加減を心配し
ているせいかもしれない。み
んなが揃い、着席したところ
で、この家のご主人、ジャ
ン・クロードがいつにない
真剣な表情で立ち上がった。
「今日、この喜ばしい夜を、
ここに集まったあなた達と共
に祝うことができることに感
謝します。クリスマスおめで
とう」。シャンペンで乾杯す
る時にはもう誰もが満面の笑
み。その後は食事の進行と共
に会話もますます弾む。

新約聖書には食事の場面が
よく登場する。フランスをは
じめキリスト教圏の国の人々
は、少し親しくなるとまず食
事に招待する。弟子達と食事
を分かち合ったイエス様のお
姿をなぞっているのかもしれ
ない。

「救い主が今日私達のため
にお生まれになった」という
喜び。一皿の料理を分け合っ
て食べるといふ具体的な行為
を通して実感する。相手の喜
びが私の喜びを増す。これ
がクリスマスマスの食卓に集う
幸福だと思ふ。
また同時に、このクリスマ
スの食卓に集えない子供達の
ことにも心を寄せたい。ウク
ライナで、ガザで、世界中に
ある難民キャンプでクリスマ
スを迎える子供達が、私たち

大人の知恵と努力によって一日も早く健やかで文化的な生活を取り戻すことができますように。

巡礼

田澤 三郎

ウエルカムテーブルとヨゼフ会共催で十一月九日に「巡礼」を実施しました。巡礼先はフランススカンチャーチです。当日は好天に恵まれ心地よい秋の一日でした。今

までに巡った教会は、「成城教会」「喜多見教会」「瀬田教会」「本郷教会」「小金井教会」「小平教会」などです。十五年くらい前に行われた巡礼は、成城教会から喜多見教会を巡り、次大夫堀公園民家園でお弁当を頂き、古墳、神社などを見学する行程でした。喜多見教会は昭和三年（一九二八年）に竣工し、長谷川路可画伯のフレスコ画と鐘楼におさめられた一五世紀にローマで鑄造された鐘が有名でした。思い出深いものがあります。現在喜多見教会はありません。

今回、フランススカンチャーチを選んだ理由は、町田から比較的アクセスが良い点。英語を話す方々を中心とする教会ということから、国際化の傾向にある町田教会にとっても何か参考になればと

思いました。またフランススコ会の創始者であるアッシジのフランシスコは、ヨーロッパ史とキリスト教史を学ぶ上で絶対に外すことができな人物で、自然や人に対する愛、平和と清貧を求めた偉大な聖人として知られています。この聖人の面影を感じることが出来ればと思いました。

現地に到着後、担当の方に温かく迎えて頂き、お御堂でお祈りを捧げました。信徒ホールをお借りして昼食を頂きました。教会は一見すると普通のコンクリートの建物ですが、正面の外観に教会らしい造作が施され玄関を入ると特徴のある壁画があります。一階は受付と会議室・応接室など、廊下に展示してあるノアの箱舟のジオラマには大変感激しました。地下に信徒ホールがあり二階が聖堂です。



この物語は子供のころ聞いた教会に伝わる「マリア様の星と願い星」の童話を思い起こしながら、まとめてみたものです



山口良樹

行状 小さい天使

子どもたちに伝えたい「マリア様の星(Ave Maris Stella)と願い星」の物語が

紙芝居に(ルポ池永)



△表紙(タイトル) 物語は天国の花に水をやっている小さな天使とマリア様のお話から始まる。

昔の人たちは、夜空に輝く北極星は位置を変えないため、旅をする人たちや特に夜の海を航行する船の進むべき道を示してくれる星として「マリア様の星」と呼ぶようになった。また流れ星を原貝い星として願いを込めること、特に煉獄の靈魂のために3回祈ることも子供たちに伝えたいとの思いから教会で語り伝えられてきたのだと思う。



マリア様は冠から星を一つとってわたしました。

空に穴がポッカリ

一人で暮らしている女の子のプレゼントがない!

空から小さな星をとってプレゼント

DVDもつづきは紙芝居あります。☆見てネ!



祭壇は壁を背に信徒席が三方を囲む形です。定員は三百名くらいで、詰めると四百名くらいは入場できるそうです。内装は綺麗に整備され、壁画などの装飾がありゆったりと明るい感じですよ。お隣の修道院の間に樹木と草花で埋め尽くされた中庭にはマリア像が安置されていました。約一時間半の黙想のひと時はあつという間でした。その後、一行は大江戸線で新宿へ行き、「平和祈念展示資料館」で戦争避難民展などを見学したのち、居酒屋での打ち上げで一日の予定は終了となりました。フランススカンチャーチのスタッフの皆様、参加者の方々のご協力に深く感謝いたします。有難うございました。

カトリック喜界島教会①

鹿児島司教区終身助祭

四條 淳也

一九七七年一二月に町田教会に転入してきましたが諸事情により他の教会へ転籍、再び町田教会に戻ってきました。その間、二〇〇八年九月に鹿児島司教区の終身助祭に叙階され、すぐに生まれ故郷奄美大島の東にある小さな喜界島教会に単身赴任し二〇一四年二月まで司牧しておりました。喜界島とはどのような所かを簡単に述べてみます。

九州の南端鹿児島市から南へ約三百八十キロメートルの洋上に奄美大島があります。その奄美大島から北東へ二五キロメートル離れた洋上に浮かぶ、隆起さんご礁の島です。最近、南北大東島間の空路が廃止され奄美・喜界島間が日本で最短の航空路になり、飛行時間は約七分間、シートベルトを外す間もなく着陸する距離。

島の概要は面積約五七平方キロ周囲四八キロメートル、山が無く、一番高い所が二一メートルの隆起サンゴ礁の平坦な島です。現在の人口は約六千人、主な産業はサトウキビ栽培と生産量日本一の白ゴマ栽培です。

島の宗教は神道が多く、神社が四八、浄土真宗寺が一つ、創価学会の会館一つ、日本キリスト教団の教会が一つ、ホーリネス教団の教会が一つ、ものみの塔会館が一つとなっています。

カトリック教会の宣教は一九八二年六月一九日コンベンツァル修道会が巡回教会を建設、糸永司教により祝別、聖マキシミアノ・コルベを保護聖人として献堂した。一九九〇年九月二六日同一敷地にベタニア修道女会が修道院を建設、シスター三名が常駐し宣教活動を開始した

が、二〇〇七年一月にベタニア修道会が撤退してから月に二回奄美大島から司祭が来島しミサが捧げられています。二〇〇八年四月一日からは私が常駐することになりました。喜界島のカトリック信徒数は約四五名、日本人が一人、フィリピン人が三五人という構成ですが、主日のミサや集会祭儀には四〜五名の参加者です。復活祭や降誕祭には三〇数名の参加となり、ミサ後には各自持ち寄りパーティーでフィリピン料理などが並びにぎやかな分かち合いとなります。

信徒の中に熱心な九五歳の元氣なおばあが教会から約十キロ離れた集落に一人で住んでおりました。最初の頃は一人でバスを利用して教会まで来ていましたが、私が車で迎えに行くと喜ばれるので、毎週迎えに行くことにしました。おばあがミサに来られるとミサが温かな雰囲気包まれていました。ミサ後の茶話会でもおばあの話聞くのを皆さんが楽しみにしていました。おばあは、最近九三歳で帰天された喜界島出身の灌憲志神父さんのお姉さんでした。



ワンポイント聖書 温故知新 ⑤

神の似姿

余生風 佐藤 正明

天地創造の最後に「神はご自分にかたどって人を創造された」(創世記1・27)とある。土から造られた点では他の被造物と共通でも、神にかたどって造られた点では違い、人には神の似姿があった。似姿とはヘブライ語では *צֶלְמַת* (ツェレム)、ギリシャ語の *eikōn* (エイコーン)、英語なら *image* だ。

だが、「神にかたどって」と言われても、神はそもそも見えないから、とてもイメージしづらかった上、原罪で歪み、曇ってしまっていたからか、神の似姿という言葉が、その後の旧約で言及されることはほとんどなかった。

ところが、新約になると俄然それが現れる。救いの時が満ちると、神の御言が「肉

となつて、わたしたちの間に宿られた」(ヨハネ1・14)からだ。それは見えない神が見える人となり、誰にもわかる神の似姿となつてくださったことに他ならなかった。マタイは救い主の系譜を太祖アブラハムまで遡り、ルカは人祖アダムまで遡ったが、ヨハネは神の御言まで遡った。ここにヨハネによる福音書の聖誕がある。

だから聖パウロは主イエス様を「神の似姿」(二コリ4・4)とか、「見えない神の姿 (image of the invisible God)」(コロ1・15)とか書き、「信じる者は主と同じ似姿になる」(一コリ15・49)と、復活の日の姿を教え、主が最後の夜使徒フィリポに「わたしを見た者は、父を見たのだ」(ヨハネ14・9)と言われたお言葉をも、私たちにわからせてくれるのである。

【次号に続く】



ガーナのクリスマス

セリーナ・アジエーワー
Selina Adjeiwa

私が日本に来たのは、2006年です。そのため、ガーナのクリスマスがどれほど変わったかは分かりませんが、私が、ガーナに居た時のクリスマスは、ガーナの過ごし方を紹介します。11月からお祝いを始めて、クリスマス前の練習も始まります。12月20日から本格的にクリスマスシーズンになったと感じます。私たちガーナの人は、音楽と一緒に生きていますので、ミサや歌の練習とかじゃなくても普段から歌うのがとても好きなのです。夜に教会に集まって楽しく聖歌の練習をおこないます。

ガーナでは、クリスマスだけの特別な料理はなく、日ごろ食べている料理を作ります。ガーナでは、ヤギなどの肉を焼いて食べます。また、魚のスープも食べます。そして、有名なジョロフライスとフフを食べます。ジョロフライスは、トマトベースの炒めピラフです。フフは、料理用のバナナを使った、日本のおもちのようなやわらかい食べ物です。子どもたちも小さい頃から料理を教わるので、15才くらいの頃には、ちゃんと

ご飯が作れるようになります。クリスマス・イブは、みんな教会にいきます。そのため教会の中は満席になります。ミサで祈って歌って、それから、キリストが生まれるまでのドラマも演劇されます。そのあと、夜中の24時まで歌います。24時になると、花火が上がってお祝いします。

ガーナでは、サンタはフアーザー・クリスマスと呼ばれています。子どもたちはお菓子のプレゼントをもらいます。12月25日も、朝から教会にいきます。ミサ後は、家族全員が集まって、それから、友達も呼んでみんな集まって食事をし、近所にもお料理を配ります。食べ物もみんなで分け合う習慣があります。「アフイシアパー」と言ってお祝いします。メリークリスマス・ハッピーニューイヤー！という意味です。

ご飯が作れるようになります。クリスマス・イブは、みんな教会にいきます。そのため教会の中は満席になります。ミサで祈って歌って、それから、キリストが生まれるまでのドラマも演劇されます。そのあと、夜中の24時まで歌います。24時になると、花火が上がってお祝いします。

共同墓参

11月6日



《キリスト教の霊性とエコロジー》 久保文彦氏講演会 11月17日

待降節英語の黙想会



戸部教会ラジユ神父を指導司祭にお迎えして、他教会からも多数の外国人信徒が参加した。12月8日

信者動静

2024年9月～11月

(個人情報のため、削除しています)

2024年降誕祭と新年のミサ

「主の降誕(夜半)」のミサ 12月24日(火) ☆☆☆

17:00～ ミニコンサート
19:00～ 16:15～
22:00～ 18:30～

「主の降誕(日中)」のミサ 12月25日(水) ☆☆☆

10:00～

2025年1月1日(水)元旦

「神の母聖マリア」のミサ 11:00